

蒲 下 第 3 4 1 号

令 和 0 8 年 0 9 月 0 2 日

国土交通大臣 殿

蒲郡市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和08年01月20日 付け 蒲下第542号 で提出した、社会資本総合
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和04年01月18日

計画の名称	蒲郡市における下水道普及の促進（重点計画）													
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	蒲郡市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 し尿受入施設の設計を行い、広域化・共同化を推進し、効率的な施設運営を実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		6,970	A	6,970	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R3当初）	（R6末）	（R8末）
1	重点アクションプラン対象区域における下水道処理人口普及率を16.1%（R3当初）から100%（R8末）に増加させる。			
	重点アクションプランの計画整備人口に対する、対象区域内人口の割合	16%	70%	100%
	下水道処理人口普及率（%）＝対象区域内人口（人）÷重点アクションプランの計画整備人口（人）×100			
2	し尿・浄化槽汚泥受入施設に係る基本設計進捗率を0%（R7当初）から100%（R8末）に増加させる。			
	し尿・浄化槽汚泥受入施設基本設計進捗率	0%	0%	100%
	基本設計進捗率（%）＝実施した設計業務（業務数）÷必要とする設計業務（業務数）×100			
3	蒲郡市下水道浄化センター汚泥処理施設増設に係る基本設計進捗率を0%（R7当初）から100%（R8末）に増加させる。			
	汚泥処理施設増設基本設計進捗率	0%	0%	100%
	基本設計進捗率（%）＝実施した設計業務（業務数）÷必要とする設計業務（業務数）×100			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	管渠（ 污水）	新設	豊岡三谷地区污水支線（ 未普及解消）	污水管 L=4,120m	蒲郡市	■	■	■	■	■	390	1.94	-	
	A07-002	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	管渠（ 污水）	新設	竹谷鹿島地区污水支線（ 未普及解消）	污水管 L=24,790m	蒲郡市	■	■	■	■	■	2,330	1.94	-	
	A07-003	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	管渠（ 污水）	新設	形原西浦地区污水支線（ 未普及解消）	污水管 L=44,860m	蒲郡市	■	■	■	■	■	4,220	1.94	-	
												小計						6,940		
水道・下水道事業	A07-004	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	終末処 理場	新設	し尿・浄化槽汚泥受入施 設建設（広域化・共同化 ）	設計（し尿・浄化槽汚泥受入 施設）	蒲郡市					■	20		-	
	A07-005	下水道	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	終末処 理場	新設	汚泥処理施設増設（広域 化・共同化）	設計（汚泥処理施設）	蒲郡市					■	10		-	
												小計						30		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						6,970		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06	R07	
配分額 (a)	578	541	475	419	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	578	541	475	419	
前年度からの繰越額 (d)	0	299	377	310	
支払済額 (e)	279	463	542	448	
翌年度繰越額 (f)	299	377	310	281	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 蒲都市における下水道普及の促進（重点計画）

事前評価		チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性		
基本方針・上位計画等との適合等 1) 上位計画と適合している。		○
Ⅰ．目標の妥当性		
基本方針・上位計画等との適合等 2) 蒲都市下水道事業計画と適合している。		○
Ⅰ．目標の妥当性		
基本方針・上位計画等との適合等 3) 関連する他事業の計画と適合している。		○
Ⅰ．目標の妥当性		
基本方針・上位計画等との適合等 4) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。		○
Ⅰ．目標の妥当性		
地域の課題への対応 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
整備計画の目標と定量式指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
整備計画の目標と定量式指標の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
整備計画の目標と定量式指標の整合性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境 1) 長期的収支計画の見直しが健全と判断される。		○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境 2) 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。		○